

旧町名を復活させる有志の会

天皇と仏教と皇位継承

2023年2月18日

早稲田大学客員教授
大塚耕平



1. 倭国の登場

漢書

「楽浪海中に倭人あり、分かれて百余国をなす」

後漢書



「建武中元二年（57年）、倭の奴国、
貢を奉じて朝賀す」

「安帝永初元年（107年）、倭国王帥升等、
生口百六十人を献じ、請見を願う」

2. 卑弥呼の時代

(朝鮮半島) 北部に高句麗

南部に韓族 (馬韓・辰韓・弁韓)

(中国大陸) 後漢から三国 (魏・吳・蜀) 時代

魏志倭人伝



「男子の以て王となし、位 (とど) まること七、八十年、倭国乱れ、相攻伐すること暦年、及 (すなわ) ち一女子を共立して王となす。名は卑弥呼という」

「親魏倭王卑弥呼に制詔す」

3. 倭国と大陸の関係

248年

卑弥呼逝去、壹与即位

391年

高句麗に広開土王即位

421年

倭王讃を安東將軍倭国王に任ず

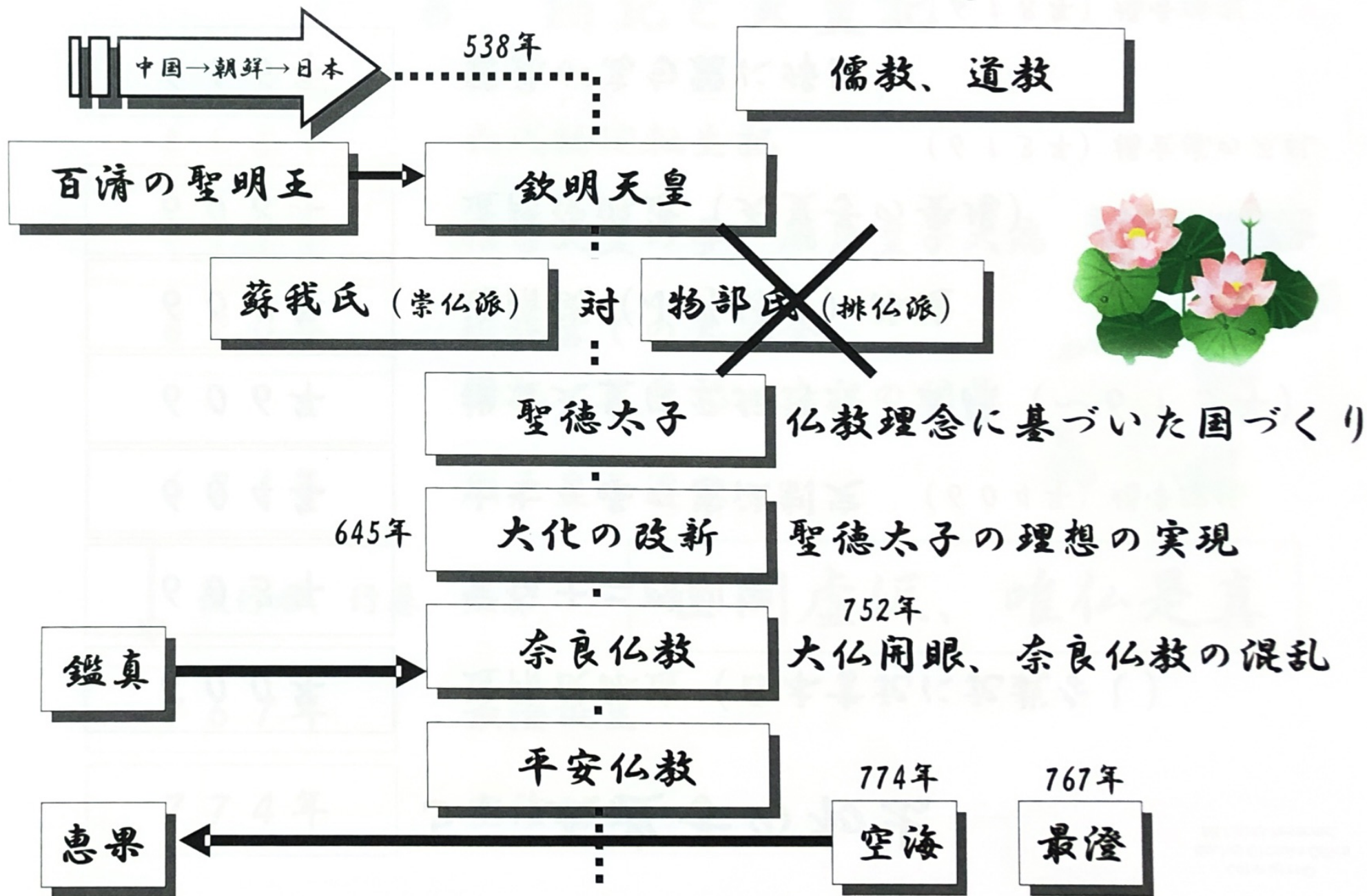
478年

倭王武（第21代雄略天皇）

「使持節都督、倭・新羅・任那・加羅・秦韓・
慕韓六国諸軍事、安東將軍・倭国王」



4. 仏教の公伝と変遷



5. 天皇号の初出

600年

遣隋使派遣（日本書記に記載なし）

603年

官位十二階制定

604年

十七ヶ条の憲法制定（604年）煬帝即位

606年

推古天皇に三経講経・義疏（～615年）

607年

遣隋使（小野妹子）派遣

608年

遣隋使派遣（天皇号の登場）



（613年）楊玄感の反乱

615年

慧慈が高句麗に帰国

（618年）煬帝暗殺
高祖が唐建国

6. 国記と天皇記

618年

六代輪廻転生記

619年

推古天皇の夢、厩戸皇子大病

620年

斑鳩宮での大宴会

国記・天皇記・本記の編纂

621年

厩戸皇子遷化

↓ 役行者、行基、鑑真

世間虚仮、唯仏是真

767年

最澄誕生

774年

空海誕生



7. 氏族仏教から国家仏教へ



8. 律令国家と日本仏教



9. 泉涌寺

9世紀初

大同年間または天長年間に空海が草創した法輪寺が起源。左大臣藤原緒嗣が再興し仙遊寺と改号。

1218年

源頼朝家臣の宇都宮信房が荒廃していた仙遊寺再興。帰依していた俊成に寄進し、1226年に伽藍完成。再興時に霊泉が湧いたので寺号を泉涌寺とした。天台、真言、禅、浄土の四宗兼学（律を含めて五宗兼学）道場として栄える。

1224年

多くの公家、武将が俊成の下で受戒する等から寺勢は増し、後堀河天皇が皇室祈願寺と定める。

1242年

四条天皇の葬儀催行。後堀河天皇と四条天皇の陵墓は泉涌寺内に築かれた。



南北朝時代から安土桃山時代までの歴代天皇の葬儀催行

1468年、応仁の乱で全山焼失。その後復興され、豊臣秀吉、徳川家康より寺領を認められる

江戸時代

後水尾天皇から孝明天皇に至る歴代天皇・皇后の葬儀を一貫して執り行う。陵墓は全て山内にあり「月輪陵」「後月輪陵」「後月輪東山陵」が築かれ、祀られている。「後月輪東山陵」は幕末の孝明天皇陵である。

皇室の陵墓や尊牌に対して香をたき、花を供える「香華院」となり「御寺（みてら）」と尊称される

明治以降

明治維新の廃仏毀釈の流れから陵墓は宮内省管理下に置かれ、天皇・皇后の葬儀をとり行わなくなったものの、明治天皇の勅旨により寺院の維持管理費は宮内省から御尊牌奉護料として下賜されていた。戦後、日本国憲法施行により国費を支出することができなくなった。

10. 仏教史と天皇

538年
(552年説)

仏教公伝

646年
(大化2年)

仏教興隆の詔

695年
(天武14年)

造寺奨励の詔

741年
(天平13年)

国分寺建立の詔

1632年
(寛永9年)

本山末寺制度

1635年
(寛永12年)

寺社奉行設置

1868年
(明治元年)

神仏分離令

天皇号初出 608年

天皇号定着 686年

日本国号初出 701年

古事記編纂 712年

日本国号初出 720年

泉湧寺祈願寺 1224年



空



无常

无我